番匠川における水生生物から見た河川水質の現況

河川の水質保全の必要性や河川愛護の重要性を認識してもらうため、中学生や一般市民の参加を得て、昭和63年から水生生物による水質調査を実施しており、昨年(平成18年)は7月から8月にかけ、7地点で125人の参加を得て調査を実施しました。

その結果、全7地点で「きれいな水」と判定されました。

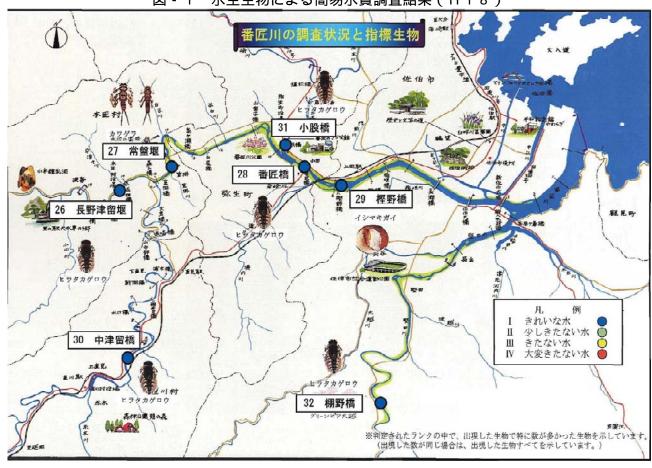


図 - 1 水生生物による簡易水質調査結果(H18)

※水生生物調査とは・・・河川に生息するサワガニ、カワゲラ等の水生生物を指標として、簡易に 河川の水質を判定する調査です。

					\vdash		_	24	w	ለወያ	E\$6				_			少しき	tte Gal	\ / \K(0)	生物						ŧ1.	41	水の質	上物	_		F	人宴		v*ko V	の生物	b .		
水系名	河川名	ОМ	調査地点地点	距離	1 カワゲラ	2 ナガレトピケラ	3 ヤマトビケラ	4 ヒラクカゲロウ	らくピトンポ	6 7 3	ファミカ	8ウズムシ	9 サワガニ	階級の直数	10コガタシマトピグラ	ロオオシマトビゲラ	12 ヒラクドロムシ	13 ゲンジボタル	はロオニヤンマ	15 #70 = +	16 X 3 X E	17 47 1000	18イシマキガイ	階級の点数	10 ミズムシ	20ミズカマキリ	21 94 10 +	22 5,1	23 2 2	24イソコツブムシ	25ニホンドロソコエビ	階級の点数	26 セスジュスリカ	27 古 ウバエ	28エラミミズ		30 アメリカザリガニ	階級の点数	平成18年の評価	平成17年の評価
77-775-80	7-77-18	26	長野津留堰	17.3		0		•	0			0		7	0		0		0	0				4				0		$\overline{}$		1							1	1
100		27	※ 錦垣	15.0		0		0			\neg	0		7	0	0	-	-1	0	-				3				0				1		-					1	1
-	掛匠川	28	物匠標	9.0	-	0		•				_		5	ě	O	_		0	\neg	\neg			4				_						_		-			i	ī
# DE 111	1	29	接到推	7.9		0			0					4									•	2						-									1	II
1000	人盟須川	30	中澤留標	10.2	0				0					6	0		0		0					3															1	I
	井崎川	31	小股標	0.1	0	0		•	0			•		7	0		Ť							1.				\Box											I	1
300	室 田 川	32	核果乳香	9.8	0			•	•	0		0	0	8	0				0	0				3			0					1							1	



久留須川 中津留橋 直川中学校



番匠川 常磐堰 佐伯市内親子



番匠川 番匠橋 鴾谷中学校



番匠川 長野津留堰 本匠中学校

NO	水系名	河川名	調査地	点	調査実施日	調査機関							
140	10 水来名 利川名		地点名	距離	阿里 天旭日	団体	名		一般	国土交通省	今回	前回	
26			長野津留堰	17,3	H18.8.10	佐伯市立本匠中学校			13	5	I	I	
27		番匠川	常盤堰	15.0	H18,8,27	佐伯市内親子(公募)			11	6	I	I	
28		16 14 11	番匠橋	9.0	H18.8.8	佐伯市立鶴谷中学校			25	8	I	I	
29	番匠川		樫野橋	7.9	H18.8.29	佐伯河川国道事務所				6	I	II	
30		久留須川	中津留橋	10,2	H18,7,31	佐伯市立直川中学校			12	7	[I	
31		井 崎 川	小股橋	0.1	H18.8.29	佐伯河川国道事務所				6	I	I	
32		堅田川	棚野橋	9.8	H18.8.7	佐伯市立佐伯南中学校			21	5	I		
7	K系計	4河川	7地点						82	43			

表 - 1 水生生物による簡易水質調査結果(H18)

○水質階級の区分

指標生物	河川の環境
I. きれいな水の生物	きれいな水の生物が生息する環境は、流れが速い、早瀬や平瀬が多い、水はき
カワケ゛ラ、ヒラタカケ゛ロウ、サワカ゛ニ、	れい、夏でも水温が低いといった渓流の様相を呈している地点が多い。
ヘヒ゛トンホ゛、ナカ゛レトヒ゛ケラ 等	こうした地点では、生物学的に極層(生物が川底を最も有効に利用している状
	態)にあって、自然河川の理想的な生物相を示していると評価できる。ヤマメ、
	アマゴ、アユなどの魚類が生息。
Ⅱ.少し汚い水の生物	少し汚い水の生物が生育する環境は、流れがやや遅い、平瀬が多くなる、水は
オオシマトヒ゛ケラ、カワニナ、スシ゛エヒ゛、	比較的きれい、平地であるといった川の上流から中流の様相を呈している。ア
ケ゛ンシ゛ホ゛タル、ヤマトシシ゛ミ	ユ、ウグイ、カマツカ、オイカワ、カワムツなどの魚類が生息。
Ⅲ. 汚い水の生物	汚い川の生物が生息する環境は、流れが遅い平瀬や瀬、淵が多く、水は汚く、
ヒル、タニシ、ミス゛ムシニホント゛ロソコエヒ゛	平地であるといった川の下流や市街地の河川の様相を呈している。魚類は少な
等	く、フナ、コイなどの魚類がわずかに生育。
Ⅳ. 大変汚い水の生物	大変汚い水の生物が生息する環境は、流れがほとんどない、瀬がなく淵が多く、
アメリカサ゛リカ゛ニ、チョウハ゛エ、エラミミス゛、	川の河口やドブ、市街地の汚濁した河川の様相を呈している。魚類はほとんど
セスシ゛ュスリカ 等	すめない。

九州地方整備局管内の結果は、「http://www.qsr.mlit.go.jp/n-kawa/」の水生生物による水質の簡易調査結果で公表しています。